

ESG説明会

2021年 4月 16日



Fujitsu WayとGRB (グローバルレスポンシブル ビジネス)、環境への取組み

富士通株式会社

執行役員常務 CSO (Chief Sustainability Officer)

梶原 ゆみ子

本日お話しすること

1. 富士通のパーパス Fujitsu Way

経営方針（非財務指標とGRB）

2. 環境への取組み

- 中長期環境ビジョン

- SBT1.5℃認定取得 省エネ施策と再エネ導入促進

- 実行計画としての環境行動計画

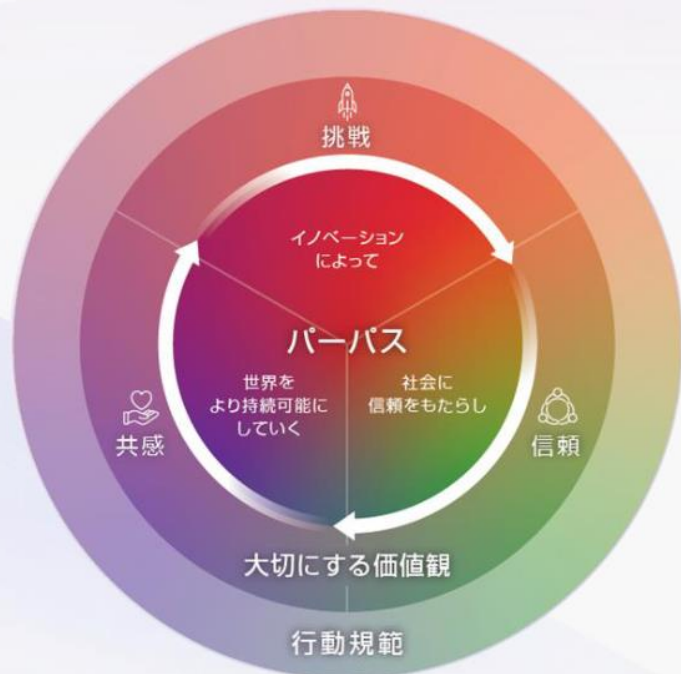
3. お客様への貢献

- ビジネスにおける事例

富士通は何のために存在するのか
そのためにわたしたち一人ひとりが何をするのか

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです。

Fujitsu Way 改訂



パーパス

わたしたちのパーパスは、イノベーションによって社会に信頼をもたらす 世界をより持続可能にすることです。

挑戦

- 志高くターゲットを設定し、スピード感をもって取り組みます
- 多様性を受け入れ、斬新なアイデアを生み出します
- 好奇心を持ち、失敗や経験から学びます
- ヒューマンセントリックなイノベーションにより、より良いインパクトをもたらします

信頼

- 約束を守り、期待を超える成果を出します
- 倫理感と透明性を持って誠実に行動します
- 自律的に働き、共通のゴールに向けて協力します
- テクノロジーを活用し、信頼ある社会づくりに貢献します

共感

- お客様の成功と持続的な成長を追求します
- すべての人々に耳を傾け、地球のことを考えて行動します
- グローバルな課題を解決するために協働します
- 社員、お客様、パートナー、コミュニティ、株主に共通価値を創造します

行動規範

- 人権を尊重します
- 公正な商取引を行います
- 機密を保持します
- 法令を遵守します
- 知的財産を守り尊重します
- 業務上の立場を私的に利用しません

経営方針 ～非財務指標とGRB

パーパス実現のため、財務・非財務両面の経営目標を設定

富士通のサステナブルな成長

パーパスに基づく経営

財務
指標

成長

収益性・
資本効率

非財務
指標

社会・お客様

従業員・
組織・カルチャー



人権・
多様性



ウェル
ビーイング



環境



コンプラ
イアンス



サプライ
チェーン



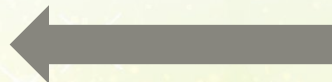
安全衛生



コミュニティ

GRB(Global Responsible Business)7課題

長期的で
安定した貢献



成長機会
の創出

世界を
より持続可能に



環境



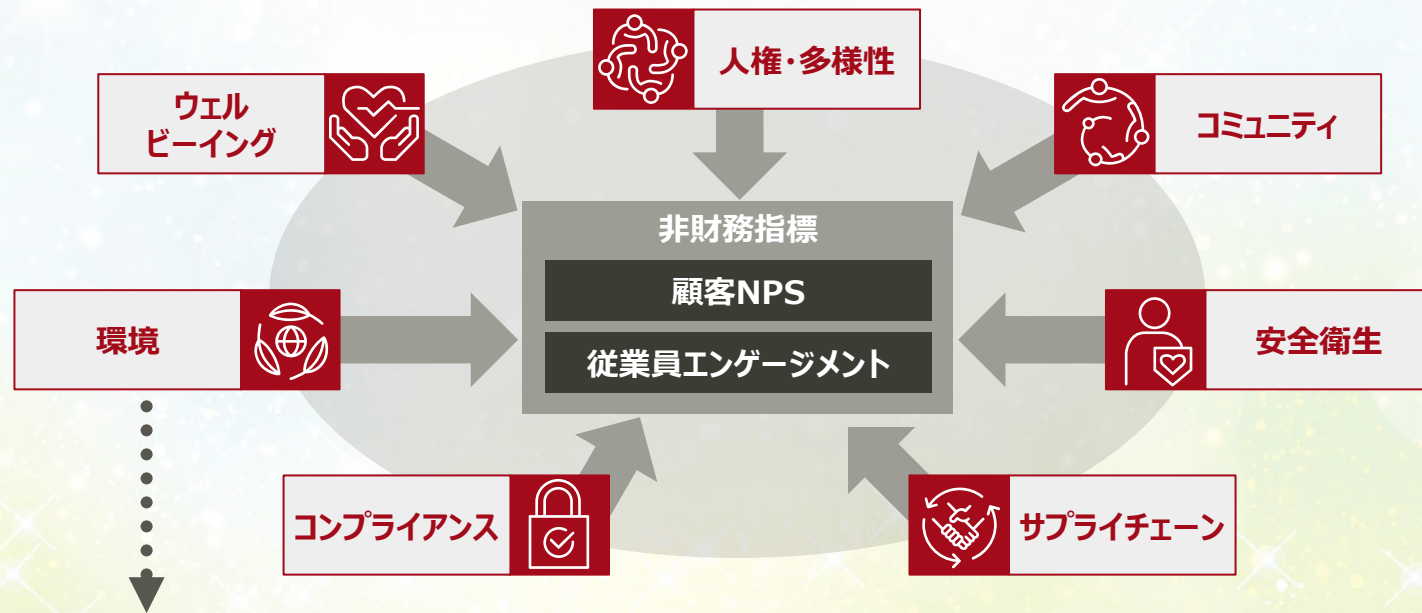
社会



経済



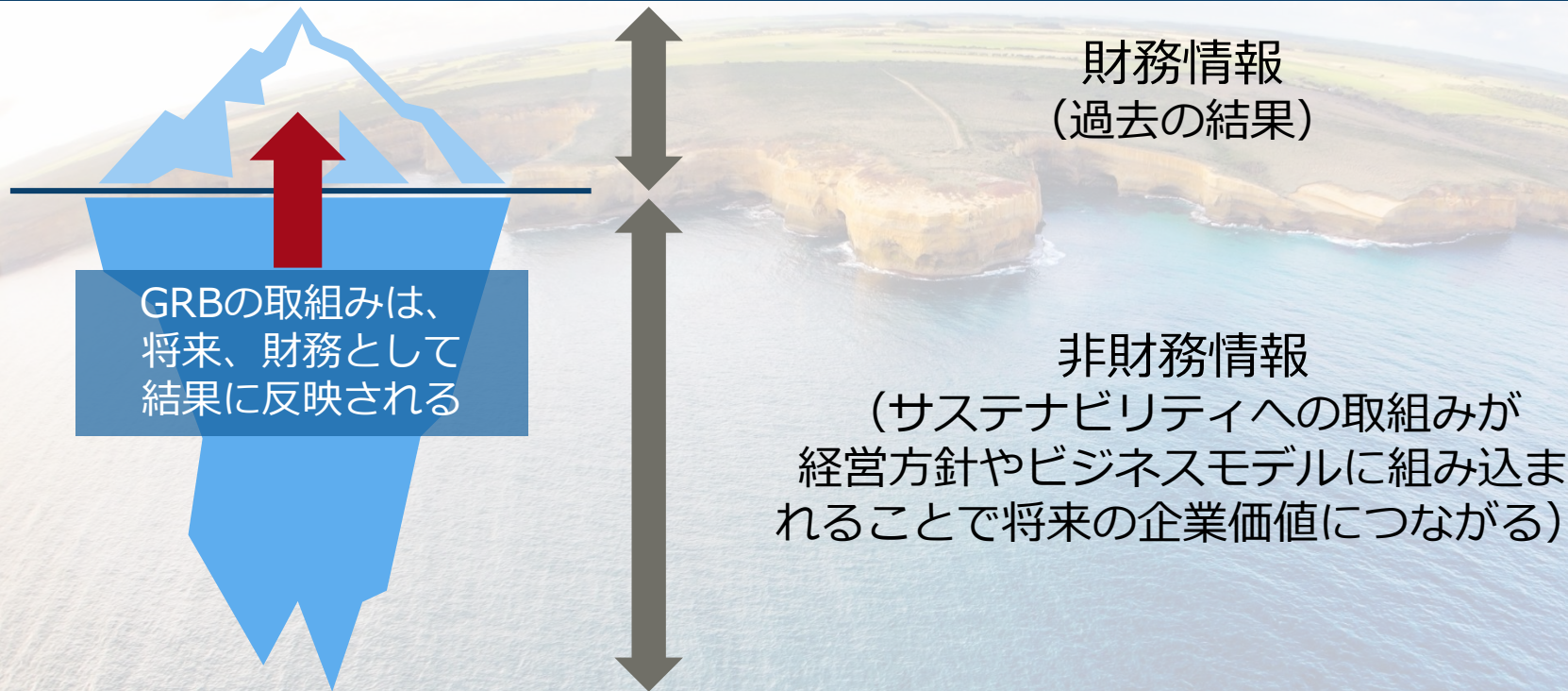
GRB (グローバルレスポンスブルビジネス)



パーパスで目指す、持続可能な社会の根底にあるのは、地球環境。
CO₂排出や資源利用を、地球の許容範囲以下に抑制することが、持続可能性に必要。
・富士通自らのCO₂ゼロエミッション、環境負荷の低減
・ビジネスを通じたお客様社会の脱炭素化、環境負荷の低減
の両軸で当社は取り組む。

将来の価値創造につながる非財務

財務情報と非財務情報の関係性



本日お話しすること

1. 富士通のパーパス Fujitsu Way
経営方針（非財務指標とGRB）
2. 環境への取組み
 - 中長期環境ビジョン
 - SBT1.5℃認定取得 省エネ施策と再エネ導入促進
 - 実行計画としての環境行動計画
3. お客様への貢献
 - ビジネスにおける事例

環境への取組み

90億人を超える人々が、エネルギー・水・食糧などの制約を克服し、豊かに暮らす社会を実現

2050

2030

SDGs達成の目標年

2020's

2010's

2000's

1990's

2019 TCFD賛同
2018 RE100へ参加
2017 中長期環境ビジョン策定 SBT2.0℃認定
2015 統合レポート発行開始

2021 CSO（チーフサステナビリティオフィサー）設置
SBT1.5℃認定、第10期 環境行動計画開始
2020 サステナビリティ経営委員会設置
2020 非財務指標設定、
GRB（グローバルレスポンシブルビジネス）
活動開始

1996 環境報告書発行開始
1994 ISO14001環境マネジメントシステム導入
1993 環境行動計画開始
1989 環境委員会設置

2008 中期ビジョンGreen Policy 2020策定
2008 生物多様性イニシアチブ署名
2007 グリーンIT活動GPI開始
2004 ITソリューションの環境影響評価手法導入

取組みの進化と目標

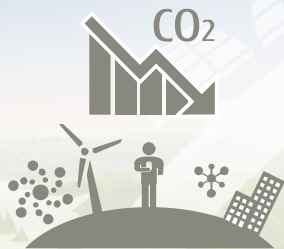
中長期環境ビジョン

FUJITSU Climate and Energy Vision



- デジタル革新を支えるテクノロジーやサービスにより脱炭素社会の実現に貢献すると共に、2050年に自らのCO₂ゼロエミッションを目指す

自らのCO₂ ゼロエミッションの実現



最先端テクノロジーによる革新的省エネと、再生可能エネルギーや炭素クレジットの戦略的活用により、2050年までにCO₂ゼロエミッションを目指します。

脱炭素社会への貢献



モビリティ、ものづくりなど、様々な分野で、エコシステムによるイノベーションを生み出し、社会全体のエネルギーの最適利用と脱炭素化に貢献します。

気候変動による 社会の適応策への貢献



HPC、AIなどのテクノロジーを活用して、レジリエントな社会インフラの構築や農産物の安定供給を実現し、気候変動による被害の最小化に貢献します。

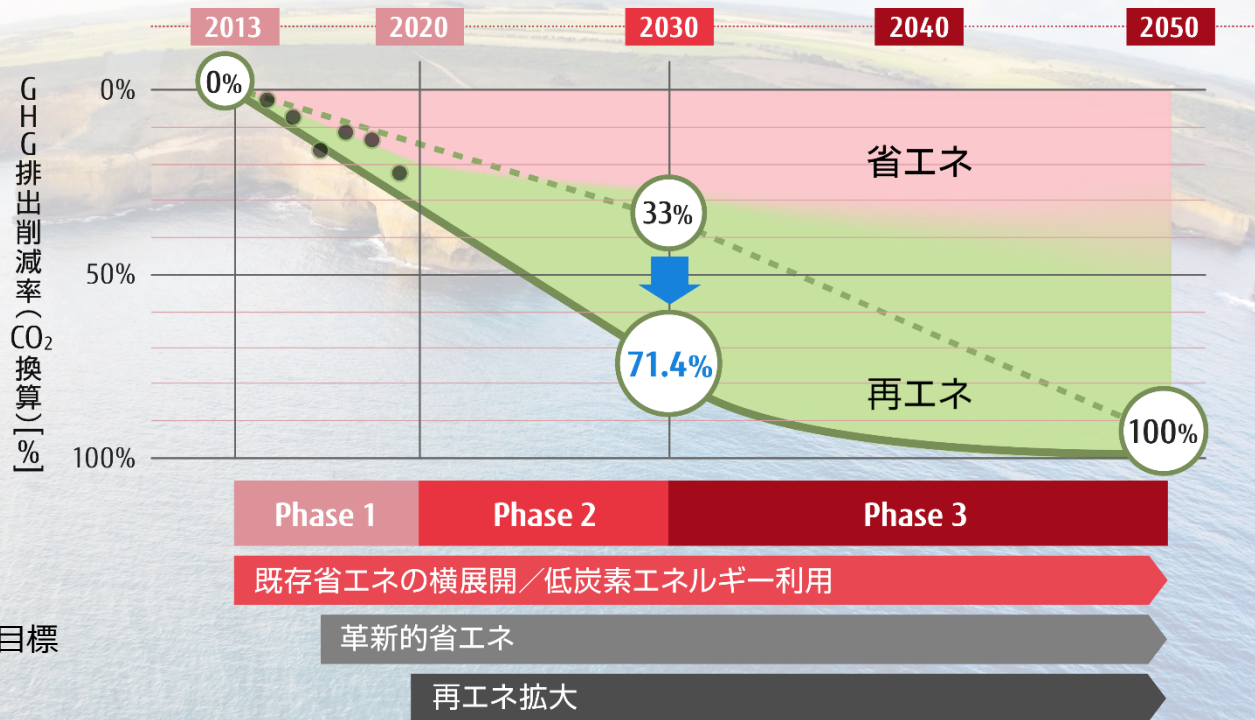
SBT1.5℃目標を登録（4/16本日公開）

NEW !

FUJITSU

■ 2℃認定(2017年)から1.5℃認定を取得し、削減目標を上方修正

「徹底的な省エネ」と
「再エネ利活用」を加速し、
2030年71.4%削減を
目指す
(2013年度比)



※1. Science Based Targets:
科学的根拠に基づいた企業のGHG削減目標
設定に関するグローバルイニシアチブ

・ 今後一層増加するデータセンターでの電力消費量削減に向け、AI空調制御の活用

再エネ促進 ～RE100イニシアチブに参加

日本初ゴールドメンバーとして加盟（2018年）

FUJITSU

RE100

■ 狙い

- 再エネの利用拡大に向けた情報収集
- グローバル共通ルールに基づいた再エネ導入
- 政府、政策に対する提言の実施

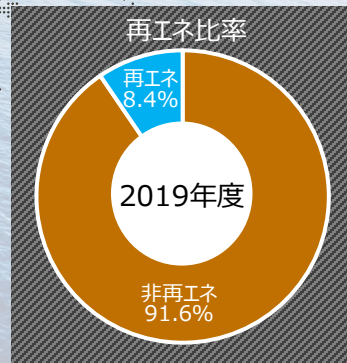
■ 富士通の目標

事業で使用する電力	再生可能エネルギー比率
2030年	40%
2050年	100%



再エネ促進 ～RE100イニシアチブに参加

これまで地域特性に合わせて導入、今後は日本（アジア）・オーストラリアに注力



再エネ促進 ～国内・オーストラリアの取り組み

国内

- 2020年度より青森、熊本、大分の三拠点で再エネ率100%
- 2021年度より川崎工場（本店）にて再エネ率100%を実現

■青森SL



■熊本SL



■大分SL



■川崎工場

NEW !



オーストラリア

- 2020年度Brisbaneデータセンターに太陽光発電を構築
- 2023年以降データセンター6か所の総使用電力1/3相当のPPA開始を検討中

■Brisbane DC

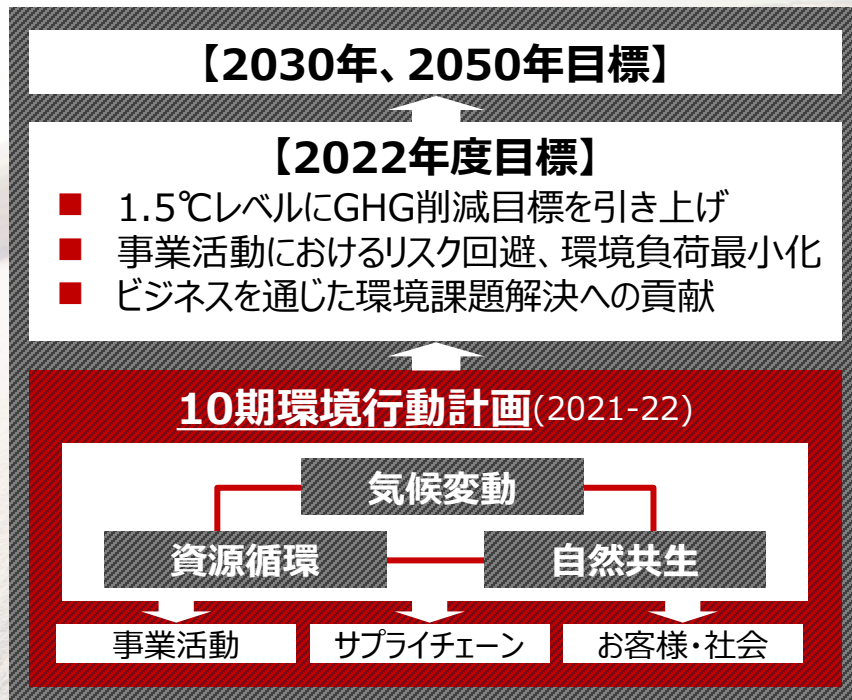


■Western Sydney DC



実行計画としての環境行動計画（2021～22年度）

- 長期目標を元に2か年の実行計画を策定
パーパス実現に向けた経営変革と地球環境改善に貢献



- 気候変動
 - ・ SBT1.5℃目標に沿ったGHG排出量の削減（省エネと再エネ導入）
- 資源循環
 - ・ 製品・梱包のプラスチック削減に着眼した省資源設計のさらなる推進
 - ・ サプライチェーンを通じた水使用量削減、水リスク評価の強化
- 自然共生
 - ・ 生物多様性に与える影響の企業評価を実施

本日お話しすること

1. 富士通のパーパス Fujitsu Way
経営方針（非財務指標とGRB）
2. 環境への取組み
 - 中長期環境ビジョン
 - SBT1.5℃認定取得 省エネ施策と再エネ導入促進
 - 実行計画としての環境行動計画
3. お客様への貢献
 - ビジネスにおける事例

(気候変動緩和)

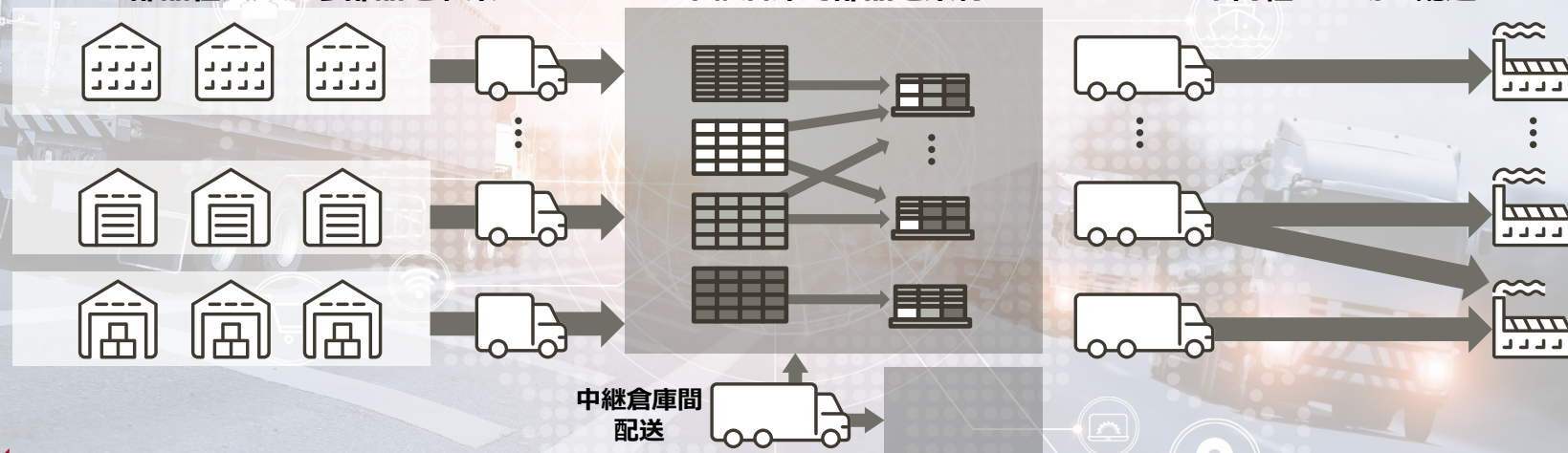
デジタルアニーラを活用した物流の最適化 トヨタシステムズ様



部品仕入先から部品を収集

中継倉庫で部品を集約

車両組立工場へ配送



仕入先 × 中継倉庫 × 組立工場

300万を超える物流ルート候補

数十人のチームで数か月かかっていた最適化計画を30分で算定
総走行距離や総コストを、既存の計画より2～5%効率化できることを確認
物流によるCO₂排出削減に貢献

(脱炭素への貢献)

「FJcloud」100%再生可能エネルギーで運用



- クラウドサービス「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud」の運用に必要な全電力を2022年度までに100%再生可能エネルギーに

<代表的なデータセンター>



館林

- DEXによるFJcloud構内接続、他社クラウドともシームレス接続
- 4000ラック収容可能な大規模DC
- 富士通CE24時間+パーツ倉庫有
- 金融機関等大型システムの豊富なサポート実績



横浜

- 首都圏近郊（駆けつけニーズ）対応
- 10,000台を超えるマルチベンダ対応
他メーカーの保守拠点も30分圏内
- 富士通CE24時間常駐
- DEXによるFJcloud構内接続、他社クラウドともシームレス接続



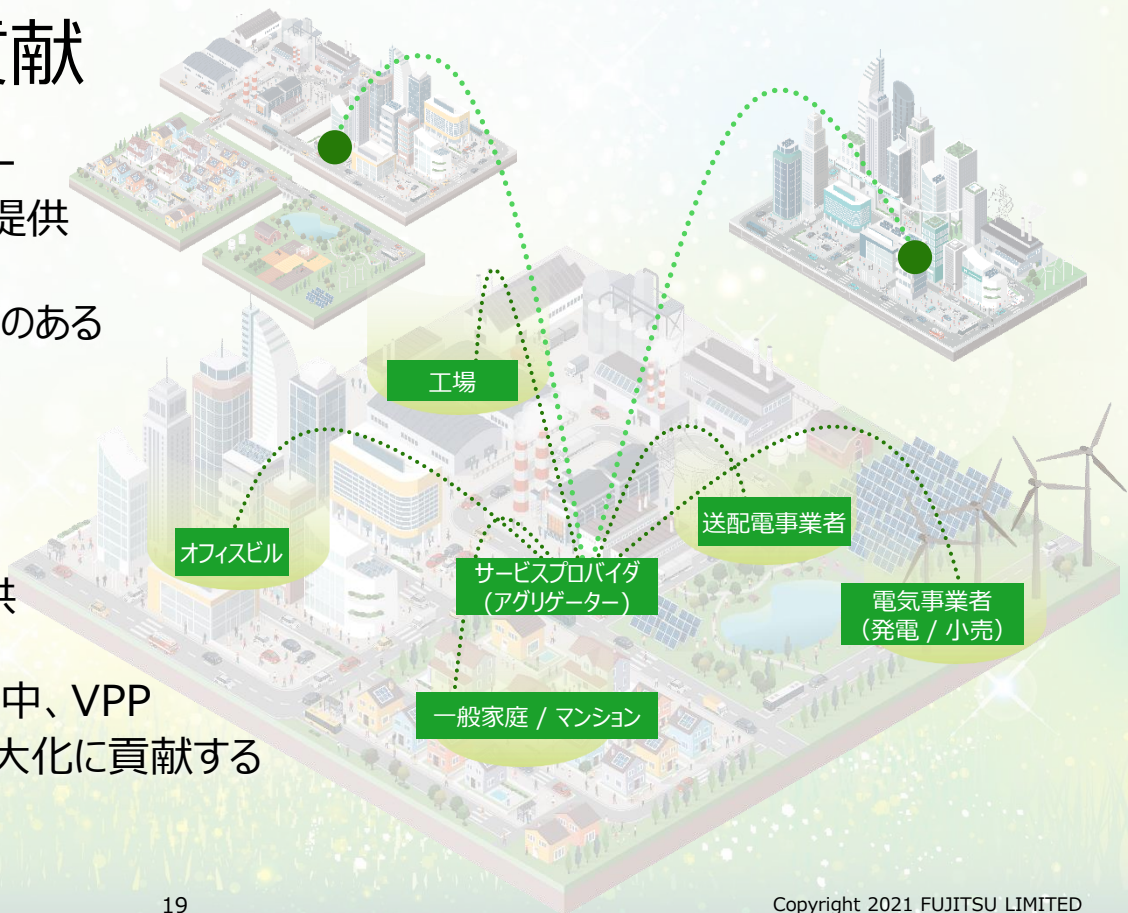
明石

- 西日本最大級のファシリティ
- 富士通CE24時間+パーツ倉庫有
- DEXによるFJcloud構内接続、他社クラウドともシームレス接続
- 東日本エリアのDR拠点ニーズ対応

(脱炭素への貢献)

分散型エネルギー源の最大活用と再生可能エネルギー拡大への貢献

- 4月より、エネルギー事業者やアグリゲーター向けに仮想発電所(VPP)ソリューションを提供
- グローバルで大手電力事業者向けに実績のある米AutoGrid社と提携、国内で販売開始
- VPPの基本機能に米AutoGrid社のソリューションを活用し、当社の独自技術(高速データ処理基盤)の付加価値を提供
- 再エネを含む分散電源の活用が拡大する中、VPPソリューション提供により、再エネ利用の最大化に貢献する



(気候変動適応)

AIを活用した水位予測による災害対策の強化

FUJITSU

雨量・水位データ

気象データ

洪水予測シミュレータ

機械学習

水理学の知見

河川水位

過去の少ない雨量・水位データで河川の水位を予測できるAI技術

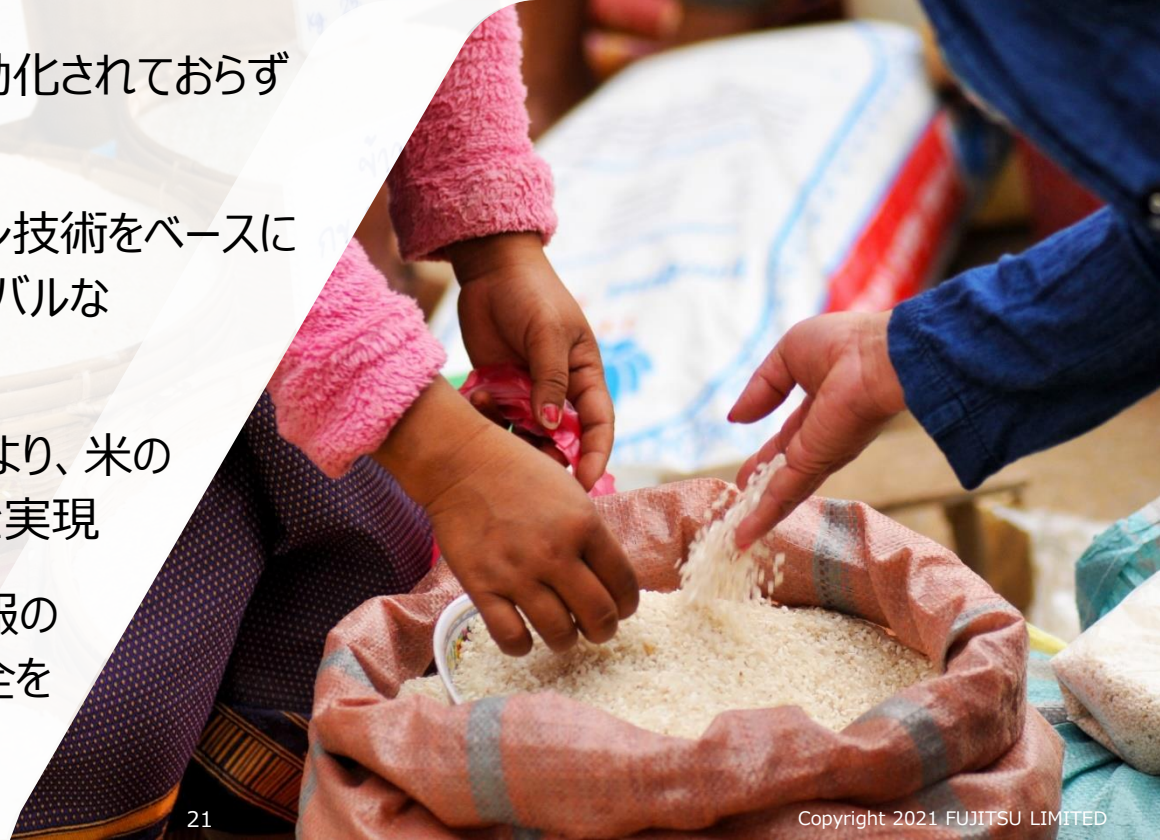


(資源問題への貢献 取引効率化)

ブロックチェーンを活用した米の取引の効率化 Rice Exchange社 様 (シンガポール)

FUJITSU

- 米取引は不透明で、プロセスは自動化されておらず非常に煩雑
- 富士通をパートナーにブロックチェーン技術をベースに「生産者」と「買い手」をつなぐグローバルなデジタル・プラットフォームを構築
- 「生産者」と「買い手」のマッチングにより、米の中間廃棄の削減、取引の効率化を実現
- 産地やサステナブル栽培認証の情報の流通により「消費者」への安心・安全を提供



世界で評価される富士通 これからも進化し続け、パーパスの実現に邁進

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM

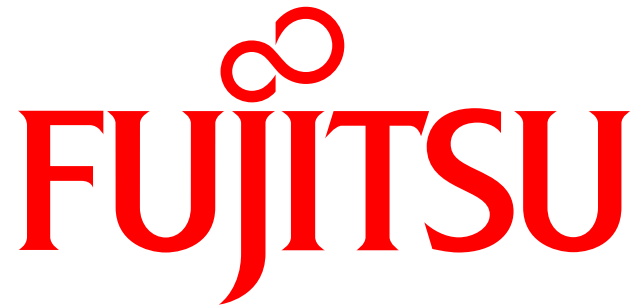
Dow Jones Sustainability World Index
for 21st time

「Dow Jones Sustainability World Index」
の構成銘柄に通算21回*選定
(*日本企業で最多)



CDP Climate Change, Water Security
Supplier Engagement Rating
A List 2020

CDPによる「気候変動」、「水セキュリティ」の調査
「サプライヤエンゲージメント評価」で
最高評価を獲得
気候変動：4年連続、水セキュリティ：2年連続



shaping tomorrow with you